

平成 25 年10月4 日

記者発表	
発表先	石川県政記者クラブ

扱い	発表を持って解禁
----	----------



日本風景街道「金沢城下 野町・弥生誘い街道」 のまち やよい いぎな ろくとひろみ 六斗広見街道まつりを開催します

日本風景街道「金沢城下 野町・弥生誘い街道」の取り組みとして、六斗広見街道まつりを下記の通り開催します。

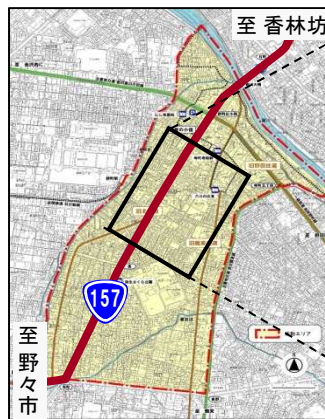
なお、本イベントは平成17年より行われており、かつて多くの人々や物資が往来して賑わいを見せていた旧鶴来街道筋の「六斗広見」を会場として、安全で快適に歩けるまちづくりを推進するとともに、地域の魅力をアピールすることを目的に開催されるものです。

記

日時 平成25年10月6日(日) 10時～14時 ※雨天決行
開催場所 金沢市野町3丁目 六斗広見
主催団体 六斗広見街道まつり実行委員会



街道まつりの様子



開催場所

【お問い合わせ先】

■六斗広見街道まつりに関するお問合せ
金沢城下 野町・弥生誘い街道
越田 智弘
電話:076-241-5971(野町公民館)

■日本風景街道全般に関するお問合せ
国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
調査第二課長 大下 陽一
電話:076-264-9912(調査第二課直通) FAX:076-233-9631



「^{ひろみ}広見」は、藩政時代に多く設けられたものであり、街路の一部が広がっている部分をさし、伏兵を配置するための戦略的計画や、荷車などの回転場所、火消しの結集地点、藩の高札や辻説法^{こうさつ つじせっぽう}の場所などとして利用されていました。

六斗広見では、幕府の巡見使^{じゅんけんし}が金沢へ入る際、迎える儀式が行われていました。



六斗広見

金沢城下 野町・弥生誘い街道

■地域のねらい

かつては3つの旧街道が交わる城下町「金沢」の南の玄関口として、現在は国道157号を通じて金沢の都心部に直結する地域として、新旧のみち筋が織りなす役割を見つめ直し、街道筋を中心に分布する寺院群、茶屋街、広見、老舗などの地域資源を活かしながら、まちなかの日本の風景を歩いて楽しむ地域づくりを目指す。

■活動エリアと地域資源

- ・ 金沢市 野町・弥生地区の国道157号などを中心とする地域
- ・ 旧街道筋を中心に、「寺町寺院群」や「にし茶屋街」のほか、街路の一部が広がっている「六斗広見」、桜が美しい「弥生さくら公園」が存在するなど、古き良き「金沢」の面影を残す風景や文化、生活感などが随所に見受けられる地域であり、歴史、文化など豊かな景色と資源が豊富。
- ・ これらの資源を活かした道や沿道の町並みを利用したイベント（六斗広見街道まつり）等が開催されている。

■地域の活動推進体制

- ・ 野町公民館
- ・ 弥生公民館
- ・ あすの野町を考える会
- ・ 野町地区、弥生地区の有識者



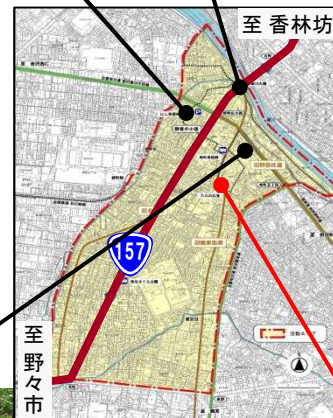
にし茶屋街



犀川大橋と
犀川沿いの桜並木



弥生さくら公園



松月寺の大桜
(国指定天然記念物)



六斗広見